

徳島大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
 徳島大学 法文学部 国際経済論特講 「国際協力論」  
 ～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容（予定）	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	4月8日	イントロダクション	持続可能な社会づくりのために、政府や市民レベルの国際協力がどのように行われ、どのように地域と結びついているかについて学ぶことを目的としていることを説明する。	饗場和彦（徳島大学）	徳島
2	4月15日	中国・内モンゴルにおける教育支援		上田勝久（内蒙古愛陽教育経済支援協会）	愛媛
3	4月22日	ザンビアにおける保健医療支援と学生による活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動へ関わる重要性と地域市民との関わりについて学ぶ。	吉田修（特定非営利活動法人TICO）、TICOユース学生、TICO	徳島
4	5月6日	貧困問題を考えるワークショップ		福井庸二（TICO）	徳島
5	5月13日	インドネシアの紛争と社会	インドネシアの紛争、津波災害の現場から見たインドネシアの現状について学ぶ。	小松邦康（インドネシア在住・フリージャーナリスト）	香川
6	5月20日	インドネシアにおける災害支援	AMDAのアチェでの活動について学ぶ。	梶田未央（AMDAアチェ事務所）	岡山
7	5月27日	カンボジアにおける教育、保健、職業訓練支援	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。	新田恭子（NPO法人セカンドハンド代表）	香川
8	6月3日	JICAの活動とODA	政府レベルの国際協力の概要やODA（政府開発援助）、MDGs（ミレニアム開発目標）、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組みを学ぶ。	JICA四国	
9	6月10日	平和構築、人間の安全保障、憲法9条の平和主義		饗場和彦（徳島大学）	徳島
10	6月17日	モザンビークにおける武器回収支援	モザンビークの平和構築事業と行政・松山市・他団体との協働について学び、国際協力活動に対し大学生としての関わり方を考える。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク代表）	愛媛
11	6月24日	難民問題と日本の対応		中尾秀一（難民事業本部関西支部）	神戸
12	7月1日	国連やWFPの活動とTICAD	WFPの活動、TICADとG8の動向について学ぶ。また国連職員として働くことになった経緯や仕事に必要なスキルなどを聞く。	山口郁子（WFP国連世界食糧計画）	東京
13	7月8日	カンボジアでの地雷除去活動	元自衛隊員が住民と共に取り組んでいるカンボジアの不発弾処理、地雷除去の活動について学び、NGOによる平和構築活動の意義について考える。また、現地で働くスタッフからの話を聞く。	高山良二（JMAS理事）、ソク・ミン（現地スタッフ）、JMAS	愛媛
14	7月15日	イラクにおける医療支援		井上俊（内科医＝JIM-NET）	
15	7月22日	企業によるCSR	CSR（企業の社会的責任）の活動について学ぶ。		

注：講義は、国際協力活動の事情や講師の都合により若干変更する場合があります。

平成20年度 香川大学「国際協力論」  
 ～ 香川から世界へ 持続可能な社会づくりのために ～

No.	月日	講座名	主な内容	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	4月14日	ガイダンス+アンケート等	・この授業の趣旨やスケジュールなどの概要を伝える。また、アンケート調査で受講生の意識や希望を聞き、今後の授業展開に生かす。 ・現地で活動する専門家より、カンボジアでの救急医療システム構築事業について学ぶ。	平篤志(香川大学教育学部准教授)、浅野哲(JICA四国支部)、新田恭子(四国NGOネットワーク運営委員)、五十嵐久美子(NPO法人TICO)	香川
2	4月21日	国際協力基礎講座1	ODA、NGO、NPOとは？用語を知ると同時に、国際協力の全体像について学ぶ。	新田恭子(NPO法人セカンドハンド)	香川
3	4月28日	JICAからみた国際協力とは？ JICAの果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA(政府開発援助)、MDGs(ミレニアム開発目標)、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組みを学ぶ。	浅野哲((独)国際協力機構 四国支部)、谷祐喜子(JICA国際協力推進員)	香川
4	5月12日	インドネシアの現状	インドネシアの紛争、津波災害の現場から見たインドネシアの現状について学ぶ。	小松邦康(インドネシア在住・フリージャーナリスト)	香川
5	5月19日	インドネシアでの支援活動	AMDAのアチエでの活動について学ぶ。	梶田未央(AMDAアチエ事務所)	岡山
6	5月26日	国際協力基礎講座2	国際協力を様々な視点から捉える(社会経済、在日外国人問題など)。	平篤志(香川大学教育学部准教授)	香川
7	5月28日	ワークショップ I	参加型学習で国際協力の理解を深める。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター 副理事長兼事務局長)	香川
8	6月2日	カンボジアでの支援活動	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。	平野キャシー(NPO法人セカンドハンド理事長)	香川
9	6月9日	国際協力団体で働いて	国際協力団体で働くスタッフから、NGOで働くことになった経緯、やりがい、仕事に必要なスキルなどを聞く。	後藤尚子(セカンドハンド事務局)、肥田浩一(えひめグローバルネットワーク事務局)	香川 / 愛媛
10	6月16日	ラオスでの支援活動	ラオスの民主化の必要性和教育支援の現状を学び、地域と国際社会における市民社会の構築のあり方を考える。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター 副理事長兼事務局長)	香川
11	6月23日	ザンビアでの医療支援活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動に関わる重要性和地域市民との関わりについて学ぶ。	吉田修(特定非営利活動法人TICO代表)	徳島
12	6月30日	WFPの活動とTICAD・G8の動向	WFPの活動、TICADとG8の動向について学ぶ。また、国際職員として働くことになった経緯や仕事に必要なスキルなどを聞く。	山口郁子(WFP国連世界食糧計画)	東京
13	7月7日	カンボジアでの地雷除去活動	元自衛隊員が住民と共に取り組んでいるカンボジアの不発弾処理、地雷除去の活動について学び、NGOによる平和構築活動の意義について考える。また、現地で働くスタッフからの話を聞く。	高山良二(JMAS理事) *ソクミン(現地スタッフ)同行	愛媛
14	7月14日	ワークショップ II (まとめ)	農村開発や植林活動について学ぶ。また、各国からの研修生とのワークショップを通し、途上国への理解を深める。	柿沼瑞穂(財団法人オイスカ四国研修センター 研修課 主任)	香川

愛媛大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
**愛媛大学 法文学部 国際経済論特講 「国際協力論」**  
 ～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容（予定）	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	4月16日	ガイダンス、ボランティア・NGO・国際協力について	持続可能な社会づくりのために、政府や市民レベルの国際協力がどのように行われ、どのように地域と結びついているかについて学ぶことを目的としていることを説明する。JICA四国、四国NGOネットワークより国際協力の四国の現状をダイジェスト版で紹介する。	栗田英幸（愛媛大学法文学部助教授）、上田利奈（JICA国際協力推進員） 竹内よし子（四国NGOネットワーク）	愛媛
2	4月23日	在住外国人問題・多文化共生の必要性	地域における国際化やグローバリズムの状況を把握し、地域における国際交流・多文化共生社会について考える。	木城香代（四国エイズプロジェクト代表）	愛媛
3	4月30日	国際協力理解ワークショップ	国際協力活動にかかせない異文化理解コミュニケーションの重要性を学ぶ。自分と地域・海外のつながりを体感し、双方向のコミュニケーションの方法をワークショップを通じて学ぶ。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長）	香川
4	5月7日	ラオス教育支援	ラオスの民主化の必要性と教育支援の現状を学び、地域と国際社会における市民社会の構築のあり方を考える。スタディツアーの参加方法について具体的に学ぶ。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長）	香川
5	5月14日	カンボジア支援	ボランティア・NGO・国際協力の「いろは」から、NGOならではの国際協力活動の意義について学ぶ。チャリティーショップ運営、カンボジアにおける教育支援活動への実践的取り組みから個々の関わりを考える。	新田恭子（NPO法人セカンドハンド代表）	香川
6	5月21日	ザンビア支援	ザンビアの住民支援や医療支援、国内における「地球人カレッジ」、チャリティーバザーやコンサート、スタディツアーの開催などTICOの活動から地域で取り組む国際協力活動の意義を考える。TICOユースに関わる学生の視点から、ボランティア参加を考える。	五十嵐久美子（特定非営利活動法人TICO）、TICOユース学生	徳島
7	5月28日	コンゴ支援	アフリカ大陸にあるコンゴで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。	ンガツ・ランドゥ・ロジャー（コンゴ子供基金事務局長）	高知
8	6月4日	TICADとG8の動向	国際青年環境NGO「A SEED JAPAN」でイベント会場のごみゼロ活動、エコリーグ（全国青年環境連盟）の立ち上げなどボランティア活動に関わった経験を元に環境NGOと、パートナーシップについて考察する。来年日本開催予定のG8サミットにおけるNGOフォーラムの取り組みなども紹介する。	星野智子（環境パートナーシップオフィス・NPO支援事業担当）	東京
9	6月11日	中間まとめ	前半の講義を基にワークショップを開催。グループディスカッション、中間まとめを行い、全体で共有する。	栗田英幸、上田利奈、竹内よし子	愛媛
10	6月18日	ユニセフ・こども関連		木城香代（四国エイズプロジェクト代表）	愛媛
11	6月25日	エイズ関連		木城香代（四国エイズプロジェクト代表）	愛媛
12	7月2日	モザンビーク支援	モザンビークの平和構築事業と行政・松山市・他団体との協働について学び、国際協力活動に対し大学生としての関わり方を考える。現地オフィスとインターネット・スカイプでつながリアルタイムコミュニケーションを実演。大学生インターンシップの経験を紹介。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク代表）、インターン学生	愛媛
13	7月9日	ワークショップ・グループディスカッション	前回の講義を基にワークショップを開催。グループディスカッションを行い、全体で共有する。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク代表）、インターン学生	愛媛
14	7月16日	JICAからみた国際協力とは？JICAの果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA（政府開発援助）、MDGs（ミレニアム開発目標）、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組みを学ぶ。	JICA四国	
15	7月23日	まとめ	後半の講義を基にグループディスカッションを行い、全体で共有する。各グループによるミニプレゼンテーションを行う。	栗田英幸、上田利奈、竹内よし子	愛媛

注：講義は、国際協力活動の事情や講師の都合により若干変更する場合があります。

高知大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
**高知大学 課題探求実践セミナー**  
 ～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容（予定）	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	7月19日	四国NGOネットワーク	持続可能な社会づくりのために、政府や市民レベルの国際協力がどのように行われ、どのように地域と結びついているかについて学ぶことを目的としていることを説明する。四国NGOネットワークより国際協力の四国の現状を紹介する。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク代表）	愛媛
2		ラオス教育支援	ラオスの民主化の必要性和教育支援の現状を学び、地域と国際社会における市民社会の構築のあり方を考える。スタディツアーの参加方法について具体的に学ぶ。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長）	香川
3		JICAからみた国際協力とは？JICAの果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA（政府開発援助）、MDGs（ミレニアム開発目標）、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組を学ぶ。	松尾泰輔（JICA国際協力推進）	高知
4		高知県・県国際交流協会の取り組みと学生の関わり	高知県内で行われている国際協力・交流の活動について考え、高知県の取り組みについて学ぶ。また、学生がどのように国際協力ボランティアに関わることができるかを実践者とともに考える。	吉田進（高知県国際交流協会）	高知
5	7月20日	コンゴ支援	アフリカ大陸にあるコンゴで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。	ンガツ・ランドゥ・ロジャー（コンゴ子供基金事務局長）	高知
6		モザンビークにおける平和構築	モザンビークの平和構築事業と行政・松山市・他団体との協働について学び、国際協力活動に対し大学生としての関わり方を考える。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク代表）	愛媛
7		開発教育ワークショップ（パート1）	国際協力活動にかかせない異文化理解コミュニケーションの重要性を学ぶ。自分と地域・海外のつながりを体感し、双方向のコミュニケーションの方法をワークショップを通じて学ぶ。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長）	香川
8		開発教育ワークショップ（パート2）			
9	9月20日	学生発表・ワークショップ	前半の講義を基にした学生による発表、ワークショップを開催。ディスカッションを行い、全体で共有する。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長）	香川
10		学生発表・ワークショップ	前半の講義を基にした学生による発表、ワークショップを開催。ディスカッションを行い、全体で共有する。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク代表）	愛媛
11		TICADとG8の動向	国際青年環境NGO「A SEED JAPAN」でイベント会場のごみゼロ活動、エコリーグ（全国青年環境連盟）の立ち上げなどボランティア活動に関わった経験を元に環境NGOと、パートナーシップについて考察する。来年日本開催予定のG8サミットにおけるNGOフォーラムの取り組みなども紹介する。	星野智子（環境パートナーシップオフィス・NPO支援事業担当）	東京
12					
13	9月21日	JICAからみた国際協力とは？JICAの果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA（政府開発援助）、MDGs（ミレニアム開発目標）、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組を学ぶ。	JICA四国	
14		ESDの取組	「持続可能な開発のための教育の10年」の取組を学びつつ、足元の地域や自分の目線で具体的に何ができるかを考える。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク代表）	愛媛
15		まとめ	全体の講義をまとめ、理解を深める。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長）	香川

注：講義は、国際協力活動の事情や講師の都合により若干変更する場合があります。